地震の〝ゆれ〟を体験！

もしもの時に備えましょう

2月26日(日)、町文化会館に地震体験車がやってきます。この車は、過去日本で発生した「関東大震災」や「兵庫県南部地震」など、8種類の大地震と同じ「ゆれ」が体験できます。

地震による揺れの怖さ、初期消火の難しさ等について体験し、防災意識を高めもしもの時に備えましょう。

●とき　2月26日(日)
午前10時～正午
午後1時～午後3時

●場　所　横芝町文化会館駐車場

※当日受付して、どなたでも参加できます。

※問い合わせ先
総務課広報防災係　☎82－8803

平成17年度統計表彰

―敬称略―

◇千葉県統計協会会長表彰
市原　賢治（鳥喰下）
伊藤　尚明（長倉）

◇千葉県郡部連合統計研究会長表彰
伊藤　雅悦（姥山）
河野　敬一（取立）

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

町の顔今ふれあいは冬絵巻
ふれあいは白く粧い禊する　桑名　大行

初日の出今年も浜に姿なく
子等の声初夢となり我起す　長谷川正子

嫁しき吾娘羽子板郷に残しけり
愛犬は十九の春を迎えけり　今関満喜子

初春や城ヶ島の辺詩碑の宿
破魔弓の護符未だなお身につけて　福田　幸子

お目出度う年は取ってもめでたいな
年始め皆の笑顔やめでたいな　若梅あやめ

みとり女の行き来に揺るる福寿草
使い古り刃先のまろき鍬始　玉虫　栗扇

初春や家族そろいて宮参り
七草に嫁菜も加えふたり膳　藤代　ゆう

ひこばえ俳句会（互選句）

一言の添えある賀状の温さかな　浅野　茂子

初鶏の声きかぬまま明けそめぬ　池田　逸子

一片の真綿雲ひく初御空　伊藤　敬子

籾殻の匂ひうつりて著焼ける　川島　孝夫

恵方道犬走り出す朝かな　向後　寛

ひび割れて仏壇守る鏡餅　小松　藤男

鉛筆の削り香匂う初句会　佐瀬　輝夫

悪筆もそれなりの味年賀状　宍倉　道子

産土に歩射幟立つ淑気かな　布施　和代

初日の出見えぬがままに有難く　若梅あやめ

篁の石の祠や初日の出　渡部　和秋

短歌

ひと日にてつる梅もどきは赤き実を
むき出し庭のいとも華やぐ　池田　春江

雪明り玻璃戸にあかるく差し入りて
湯西川温泉夜の静けし　永藤　滋

思わずも錦織り成すと口ずさむ
南禅寺の紅葉朱の極まる　吉岡　信子

若き日の心の充ちし日を思ひ
古き書物の整理してゐつ　佐瀬　初音

九十九里の続く渚の砂の粒
白き光を混じる返すも　西山満里子

ほっこりと冬の日留まる置き石に
熅がひとり腰掛けゐたり　八角　三枝

勤めもつ娘に持たせむとほうれん草
洗ふ指先凍みて冷めたし　芹川　初子

少女の日読みし〝野菊の墓〟の感動が左
千夫記念館に甦りきぬ　田崎　尚美

三十年生きて逝きたるわが吾娘よ
よき娘にてよき母なりき　田崎　一宇

夕つ日がいま沈みゆく農道を
白菜積みし一輪車押す　押尾　輝子

平らかなわが住む里にも狸ゐて
ときどき庭に姿を見する　鈴木　やす

高きより光りつつ落つる滝水の
平らかにして直ぐなる響　越川　教子

絶え間なく流れつづける利根川の
岸に沿ふ灯のさざめき続く　上総　晴子

土産買ふとシンガポールの街ゆくに
だしぬけに襲ふスコール激し　島田　ますみ

初日の出拝むと六キロ海辺まで
歩みて行きし若き日のあり　長谷川　正子

靴はきて歩み初む日も近からむ
苺花ちゃんの躍力満ちゐつ　選者　斎藤つね子